

# 特定非営利活動法人 大空福祉会

## 令和 2 年度 事業報告

### 1. 法人の概要

#### ①法人本部

- ・所在地 富里市御料 9 5 0 - 3 (パレット事務室内)

#### ②パレット

- ・所在地 富里市御料 9 5 0 - 3
- ・実施事業 放課後等デイサービス、地域生活支援事業 (日中一時支援)
- ・利用定員 1 0 名
- ・開所日 月曜日～土曜日  
(ただし、第 2 土曜日、祝日、8 月のお盆、年末年始を除く)
- ・サービス提供時間 放課後 14:00～18:00  
学校休業日 10:00～18:00
- ・開設年月日 平成 2 1 年 4 月 1 日
- ・管理者 手島秀和

#### ③第 2 パレット

- ・所在地 芝山町岩山 2 3 4 9
- ・実施事業 放課後等デイサービス、地域生活支援事業 (日中一時支援)
- ・利用定員 1 0 名
- ・開所日 月曜日～土曜日  
(ただし、第 2 土曜日、祝日、8 月のお盆、年末年始を除く)
- ・サービス提供時間 放課後 14:00～18:00  
学校休業日 10:00～18:00
- ・開設年月日 平成 2 2 年 5 月 1 日
- ・管理者 久保恵

#### ④キャンパス

- ・所在地 芝山町岩山 2 3 4 9
- ・実施事業 生活介護、地域生活支援事業 (日中一時支援)
- ・利用定員 2 0 名
- ・開所日 月曜日～金曜日  
(ただし、祝日、8 月のお盆、年末年始を除く)
- ・サービス提供時間 9:30～15:30
- ・開設年月日 平成 3 0 年 8 月 1 日
- ・管理者 高橋寿幸

## 2. 役員等

役名	氏名	任期
理事長	手島 秀和	令和1年6月1日～令和3年5月31日
理事	立田 芳弘	令和1年6月1日～令和3年5月31日
理事	川嶋 司朗	令和1年6月1日～令和3年5月31日
理事	持田 光夫	令和1年6月1日～令和3年5月31日
理事	峯 千亜希	令和1年6月1日～令和3年5月31日
監事	石河 陽	令和1年6月1日～令和3年5月31日

## 3. 法人事業報告

### ①運営

#### ・新型コロナウイルスへの対応

小学校等の臨時休校が終了した後も分散登校や夏休み期間の短縮や変更など通常とは異なる日課となり、勤務の調整や送迎表の作成等、対応に追われた。生活介護も感染の不安を訴え利用の自粛があったり、併用事業所の要請で感染拡大防止の目的のためキャンバスの利用を自粛したりするなど、普段とは異なる対応が必要になった。

緊急事態宣言に伴う小学校等の臨時休校については、文書やマチコミを使い、感染拡大防止の可能な限り家庭保育にご協力いただき、発熱や風邪症状のある方は利用を控えていただいた。

日々の取り組みとして、検温の実施、手洗い及び手指消毒、床やおもちゃ等の消毒に加え、送迎終了後の業務用車両の消毒や、小さいスプレーボトルにアルコールを入れた物を職員が携帯し、学校お迎えの車内や支援中気づいた時にこまめに消毒ができる体制を取るなど、できることを行った。幸いなことに利用者・職員ともに陽性者は出なかったが、学校や近隣事業所では陽性者が出ており、予断を許さない状況が続いている。

#### ・雇用の維持

4月～6月は小学校の臨時休校に伴うかかりまし分が発生し、学校休業日単価での請求となったが、放課後等デイサービスの国保連請求額は大幅に減少した。この期間は雇用維持の目的で可能な限り交代で休業し、雇用調整助成金や緊急雇用安定助成金を申請した。また、子育て中の職員について、緊急事態宣言の発令に伴い保育園等に子供を預けて就労することが難しくなったため、休業や勤務時間の短縮を行うとともに、両立支援等助成金及び小学校休業等対応助成金を申請した。

雇用の維持に関して令和2年度に受けた助成は以下の通りである。

実施主体	名称	対象月	金額
千葉労働局	雇用調整助成金	4月分	58,986円
		5月分	216,282円
		6月分	68,817円
	緊急雇用安定助成金	4月分	53,450円
		5月分	72,950円

		6 月分	29,200 円
雇用環境・均等局	両立支援等助成金	4～6 月分	115,821 円
	新型コロナウイルス感染症による 小学校休業等対応助成金	4～6 月分	37,060 円
合計			652,566 円

・慰労金の支給

新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金を代理受領し、対象者 2 3 名に交付した。

②行政等からの支援

・千葉県からの助成

千葉県から感染症対策費用等の助成を受け、施設整備を行った。助成金を使い、パレット・第 2 パレットは換気機能付きエアコンやアルコール等の衛生資材を購入した。キャンバスは自己資金と合わせ、中古車両（ホンダ フリード）を購入した。

助成金額は以下の通りである。

実施主体	名称		施設名	金額
千葉県	緊急包括支援事業 （障害福祉慰労金を 除く）	感染対策費用 助成事業	パレット	360,000 円
			第 2 パレット	360,000 円
			キャンバス	757,000 円
		再開環境整備 助成事業	パレット	200,000 円
			第 2 パレット	200,000 円
			キャンバス	200,000 円
合計				2,077,000 円

また、個別再開支援助成事業として、以下の金額を申請し受領した。

実施主体	名称		施設名	金額
千葉県	緊急包括支援事業 （障害福祉慰労金を 除く）	個別再開支援 助成事業	パレット	20,000 円
			第 2 パレット	22,000 円
			キャンバス	2,000 円
合計				44,000 円

・富里市及び芝山町からの支援

新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら福祉サービスの提供を継続している事業所を支援する目的で富里市・芝山町が独自に創設した交付金を受領した。また、マスク・手袋・消毒用アルコールなど衛生用品を現物でいただいた。

令和 2 年度に富里市及び芝山町から受領した交付金は以下の通りである。

実施主体	名称	交付	施設名	金額
富里市	障害福祉事業者支援交付金	5 月	パレット	100,000 円
	障害福祉事業者支援交付金（追加 支給分）	2 月	パレット	100,000 円

芝山町	中小企業等支援給付金	7 月	キャンバス	50,000 円
	介護保険・障害福祉サービス等事業者支援金	1 月	第 2 パレット	200,000 円
		1 月	キャンバス	200,000 円
合計				650,000 円

#### ・利用者家族からの支援

利用者家族からたくさんの励ましの言葉をいただいた。消毒用アルコールが手に入らない時に施設の状況を気遣い、現物を届けて下さった方もいた。

富里市手をつなぐ親の会からも例年と変わらず日用品の寄付をいただいた。感染拡大が収まらない状況下でも事業所を訪問し日用品を届けて下さるとともに、「大変な状況ですがお互いに頑張りましょう」というあたたかい言葉をいただいた。

不織布マスクが品切れとなり手作りマスク用のゴムひもや布が手に入りにくい中、富里市社会福祉協議会の方が、社会福祉協議会と包括支援センターにボランティアの方が寄付した布製の手作りマスクを届けて下さり、その気遣いに励まされた。

#### ・緊急事態宣言による学校臨時休校に伴う請求事務への対応

小学校等の臨時休校期間の利用が学校休業日単価の適用となり、授業終了後の単価と学校休業日単価の差額（かかりまし分）が発生した。かかりまし分の請求方法は統一されず、

- A. 国保連は授業終了後の単価で請求し、差額を市町村に直接請求する市町村、
- B. 初めから学校休業日単価で国保連請求し、後日該当日数を市町村へ報告する市町村、
- C. はじめは A だったが途中から B に変更になった市町村

といった具合に市町村ごとに対応が分かれ、事務に大きな負担がかかった。また、利用者の 1 割負担分についてもかかりまし分の再計算や過誤請求、返金が生じ、非常に大変だった。

代替サービスの提供に関しては、利用を自粛している方に電話連絡の方法で健康状態や生活状況の聞き取り、必要に応じて悩みを聴いたりアドバイスをしたりした。キャンバスは請求を行うことができたが、放課後等デイサービスでは具体的な書式の用意や事務手続きが追い付かず、請求に結び付けることができなかった。

#### ②車両関係

- ・ワゴン R のスタッドレスタイヤを購入し、全車両にスタッドレスタイヤを確保した。
- ・令和 3 年 3 月、ホンダフリードを中古で購入し、キャンバスに配置した。

#### ③借入金の返済

キャンバスの事業資金として平成 30 年 7 月 30 日に日本政策金融公庫から借り入れた 1, 300 万円について、月々 16 万円及び利息を滞りなく返済している。

#### ④職場環境作り

- ・休憩・休暇が取得しやすい職場環境づくり

昨年度同様、1日の予定表を作成し、あらかじめ各自の休憩時間を指定し周知するとともに、交代で休憩に入ることによってスタッフの休憩時間を確保した。休暇の取得については、勤務表作成前に希望休の有無を聴取し、調整を行った。

・常勤会議の実施

常勤会議を実施し、事業所間での情報共有に努めたり、放課後等デイサービスの新規利用者の振り分け等について話し合ったりする機会を設けた。

⑤ボランティアの受け入れ

今年度は受け入れなし。

⑥職員研修

・内部研修

パートタイム職員を含めた全体に対する職員研修は実施することができなかったが、常勤職員を対象に、午前中に読書会や勉強会を開催した。

読書会はパレット・第2パレットの常勤職員で実施した。日本知的障害者福祉協会から刊行されている「はじめて働くあなたへーよき支援者を目指してー」を読み、感想を話すことで日々の支援の振り返りや支援のヒントを得る機会を設けた。

危険予知訓練はパレット・第2パレット・キャンパスの常勤職員を対象に、食事場面のイラストを用いて、危険要因と想定される事故を予測し、対応策を考えるグループワーク形式で実施した。

また、パレット・第2パレットの常勤職員を対象に、福祉サービス受給者証・利用契約・重要事項説明書の内容や個別支援計画策定の流れを勉強し、知識の習得に努めた。

日付	名称	実施場所	参加者
9/29	勉強会 ・契約日数と福祉サービス受給者証について	パレット	常勤職員
11/11	読書会「はじめて働くあなたへ」 ・燃え尽きない心を保つこと	パレット	常勤職員
11/20	勉強会 ・危険予知訓練	第2パレット	常勤職員
11/18	読書会「はじめて働くあなたへ」 ・チームワークを大切にすること	パレット	常勤職員
11/25	読書会「はじめて働くあなたへ」 ・支援者に求められること	パレット	常勤職員
1/27	勉強会 ・放課後等デイサービス、生活介護とは ・契約書、重要事項説明書について	パレット	常勤職員
2/3	勉強会 ・人員、設備基準、加算の概要について	パレット	常勤職員

3/10	勉強会 ・個別支援計画の策定の流れ 読書会「はじめて働くあなたへ」 ・個別支援のあり方	パレット	常勤職員
------	--	------	------

・外部研修

新型コロナウイルス感染のおそれがあるため、サービス管理責任者基礎研修や更新研修への参加を自粛している。

日付	名称	主催	参加者
12/2	子どもの人権問題 オンライン講演会 「考えてみよう、子どもの権利 ～体罰によらない子育てのために～」	千葉県	常勤職員 (パレットにて視聴)
12/3	千葉県労務協会 ・労務に関する改正について ・コロナ禍における労務管理	千葉県労務協会	事務 1 名

# パレット・第2パレット

## 令和2年度事業報告

### 1. 事業実施の方針

利用児童が日常生活における基本動作を高め、集団生活に適応することができるよう個々の障がい特性に応じた支援を行う。利用者同士の関係を構築する手助けを行い、その関係を通して心身の充実を図り、社会のルールやマナーを自然に習得できるよう支援する。

- ・事業開始 パレット 平成21年4月1日  
第2パレット 平成22年5月1日

### 2. 事業の期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

### 3. 事業の実施に関する事項

	パレット	第2パレット
事業名	児童福祉法に基づく児童発達支援事業	児童福祉法に基づく児童発達支援事業
事業内容	放課後等デイサービス事業	放課後等デイサービス事業
実施日時	月～土曜日（第2土曜日は休業）	月～土曜日（第2土曜日は休業）
実施場所	富里市御料 950-3	芝山町岩山 2349
従事者の人数	①管理者・児童発達支援管理責任者 兼務1名 ②保育士・児童指導員・指導員 9名	①管理者・児童発達支援管理責任者 兼務1名 ②保育士・児童指導員・指導員 7名
受益対象者の範囲及び人数	定員10名	定員10名

### 4. 事業内容

#### （1）個別支援計画の作成

#### （2）基本事業

- ①日常生活訓練（日常生活動作、歩行、軽スポーツ、音楽活動等）
- ②集団生活適応訓練（会話、着衣、生活マナー等）
- ③創作的活動（絵画、工作、園芸等）
- ④更正相談（医療、福祉、生活の相談等）
- ⑤介護方法の指導（家族に対する介護技術指導等）
- ⑥健康指導（健康チェック、健康相談）

#### （3）介護サービス

更衣、排泄等の身体介助

(4) 送迎サービス

利用児童の通う学校と自宅・事業所間の送迎 (5) その他

その他の必要とされるサービス

5. 施設利用状況

①延べ利用人数及び平均人数

	令和 2 年度		令和 1 年度		前年比
	延利用人数	1 日平均	延利用人数	1 日平均	
パレット	2,534 人	9.1 人	3,069 人	11.2 人	82.5%
第 2 パレット	1,988 人	7.1 人	2,413 人	9.4 人	82.3%

- ・令和 2 年 3 月に、パレットは 2 名、第 2 パレットは 2 名の利用児童が学校を卒業し、放課後等デイサービスの契約を終了した。令和 2 年 4 月以降は、パレット 1 名、第 2 パレット 4 名が新たに利用を開始している。今後も相談支援事業所と連携を図りながら利用者の卒業に備え、安定した利用を目指す。

②緊急事態宣言に伴う臨時休校の影響

	4 月	5 月	6 月	7 月	令和 2 年度合計
開所日数	24 日	22 日	25 日	24 日	278 日
パレット	57.5%	60.0%	86.0%	97.1%	91.2%
第 2 パレット	36.3%	38.6%	68.0%	82.5%	71.5%

- ・新型コロナウイルスによる利用自粛の影響が大きく、4 月～6 月は利用が落ち込んだ。7 月以降は回復傾向にあるものの、令和 2 年度の平均利用率はパレット 91.2%、第 2 パレット 71.5%にとどまった。

6. 活動状況

①合同イベント

夏休みにお楽しみ会・縁日・ビンゴ大会、春休みに紙芝居・手遊びなど、パレット第 2 パレット合同でイベントを実施した。

・お楽しみ会

ボランティアの方をパレットに招いてマジックショーと紙芝居を実施した。中でもマジックショーで教わった割り箸を使った手品は好評で、お楽しみ会終了後も利用者が手品を見せてくれるなど楽しい交流が続いた。

2 事業所の利用者とスタッフがパレットに集まるため、密にならないよう、お楽しみ会と並行して公園外出等も実施した。公園の木陰は涼しく、遊具や散歩で思いっきり体を動かすことができた。

・縁日

縁日の準備は社会福祉センターの会議室とパレット・第 2 パレットに会場を分け、利用者と一緒に輪投げや魚釣りを作成した。縁日は中部ふれあいセンターのホールと第 2 パレットに会場を分けて実施した。新型コロナウイルスの影響で活動が限られる中、



広い場所で事業所の垣根を超えて交流し、のびのび過ごすことができた。その一方で、会議室は少人数での利用とマスクの着用が必須となるため、マスクの着用が難しい利用者の対応や会場へ向かうグループとパレット第2パレットで過ごすグループの調整が難しいなど、課題も残った。

## ②おやつ作り

おやつ作りは長期休暇や土曜日に実施している。ワッフル、パフェ、サンドイッチ、たこ焼き、ポップコーン、フルーチェなどをいろいろなおやつを利用者と一緒に作った。参加する利用者が何らかの作業を必ず行えるよう作業工程を考えたり、調理組とドライブ組に分け、調理スペースが密になったりしないよう工夫している。以前は材料の買い出しを利用者で行い、カートを押したりセルフレジを操作したりという買い物体験を活動に取り入れていたが、新型コロナウイルスの影響でスーパーマーケットに大人数で出かけることが難しいため、材料の買い出しは職員が行っている。

## ③室外活動

学校のお迎え時間が分散している関係で、平日は室外活動を実施することが難しい日もあるが、シャボン玉遊び・散歩・キャッチボール・サッカー・キックボード・ドライブなどを実施した。学校休業日は時間に余裕があるので少し長めに出かけることができ、北総病院へドクターヘリを見に行ったり、成田空港へ飛行機を見に行ったりした。初詣は密を避けることが難しいと判断し、今年度は実施しなかった。パレット駐車場にプールを出して夏休みに行く水遊びは毎年利用者が楽しみにしている活動だが、新型コロナウイルス感染の危険があるため実施していない。

### <年間行事・制作物>

★はパレット、第2パレット合同で実施

	パレット		第2パレット	
	行事	制作物	行事	制作物
4月			公園外出	こいのぼり
5月				ちょうちょ
6月		時計のかたつむり		たなばた
7月		彦星と織姫		ヨーヨー
8月	お楽しみ会★ (マジックショー、紙芝居) 公園外出 縁日★ (ひもくじ、輪投げ、魚釣り) ビンゴ大会★	ヨーヨー飾り	お楽しみ会★ (マジックショー、紙芝居) 公園外出 縁日★ (ひもくじ、輪投げ、魚釣り) ビンゴ大会★	とんぼ
9月		お月見うさぎ		ハロウィンリース
10月	ハロウィン	ハロウィン		くり、きのこ

11 月		きのこ、どんぐり、くり		クリスマスツリー
12 月	クリスマス会	サンタクロース	クリスマス会	だるま
1 月	新年会	牛		鬼のお面
2 月	節分	ひなまつり	節分	ゆきだるま
3 月	お別れ会	蝶	お別れ会	ひなまつり

## 7. 虐待防止の取り組み

- ・各事業所の毎月の定例会議において、職員一人一人が虐待防止チェックシートを記入し、支援を振り返る時間を設けた。意見交換や補足説明も適宜行った。記入の終わった虐待防止チェックシートは日々の支援に役立てるため、随時見直すことができるよう職員が個々に保管している。

## 8. 地域との交流

- ・富里ボッチャの会等地域の方の協力を得ながら合同イベントを行いたかったが、新型コロナウイルスの影響で道具の貸し出しや指導を受けることができなくなったため、実施できなかった。
- ・やちまた福祉フェスタは新型コロナウイルスの影響により開催されず、事業所紹介等の機会はなかった。

## 9. 他事業所との交流

- ・社会福祉法人清郷会のご厚意で協和厚生園のサツマイモ畑にお邪魔し、芋掘りをさせていただいた。大きいさつま芋を見つけたくて夢中で掘り、楽しい時間を過ごした。
- ・成田富里圏域放課後等デイサービス連絡会に参加し、近隣の放課後等デイサービス事業所の職員と情報交換をした。1 回目の緊急事態宣言中に近隣の事業所がとった対応や活動内容を直接聞くことができた。

## 10. 情報開示

- ・ホームページに放課後等デイサービス評価表を掲載した。
- ・事業所のおたより（パレットだより）を年4回発行した。